

2023年7月吉日
世界自動車調査月報編集長 安藤 久史

世界自動車生産、2022年は5.9%増の8,541万台、2023年も回復基調続く見通し

さて、当社では『FOURIN 世界自動車調査月報』2023年7月号(2023年7月10日発刊)にて、「2022年世界自動車生産台数」をテーマとしたレポートを取りまとめましたので、ご案内を申し上げます。

- 2022年の世界48ヵ国自動車生産台数は5.9%増の8,541万台
- ただし、ピーク時である2016～2018年の9,700万台と比べると15%以上、2019年の9,300万台と比べても8%少ない
- メーカー別では、トヨタグループ(Subaru含む)が6.2%増の1,180万台で4年連続の首位

FOURINが2023年6月時点で入手できた世界48ヵ国の自動車生産台数(一部推計を含む)を集計すると、前年比5.9%増の8,541万台となりました。年後半に半導体などの部品不足が一定程度落ち着いたことから、8,500万台まで持ち直した形です。

地域別に見ると、中・東欧(ロシア含む)以外は前年実績を上回りました。米州で1割、欧州(ロシアやCISを除く)では5%弱、アジアでは7%伸びました。

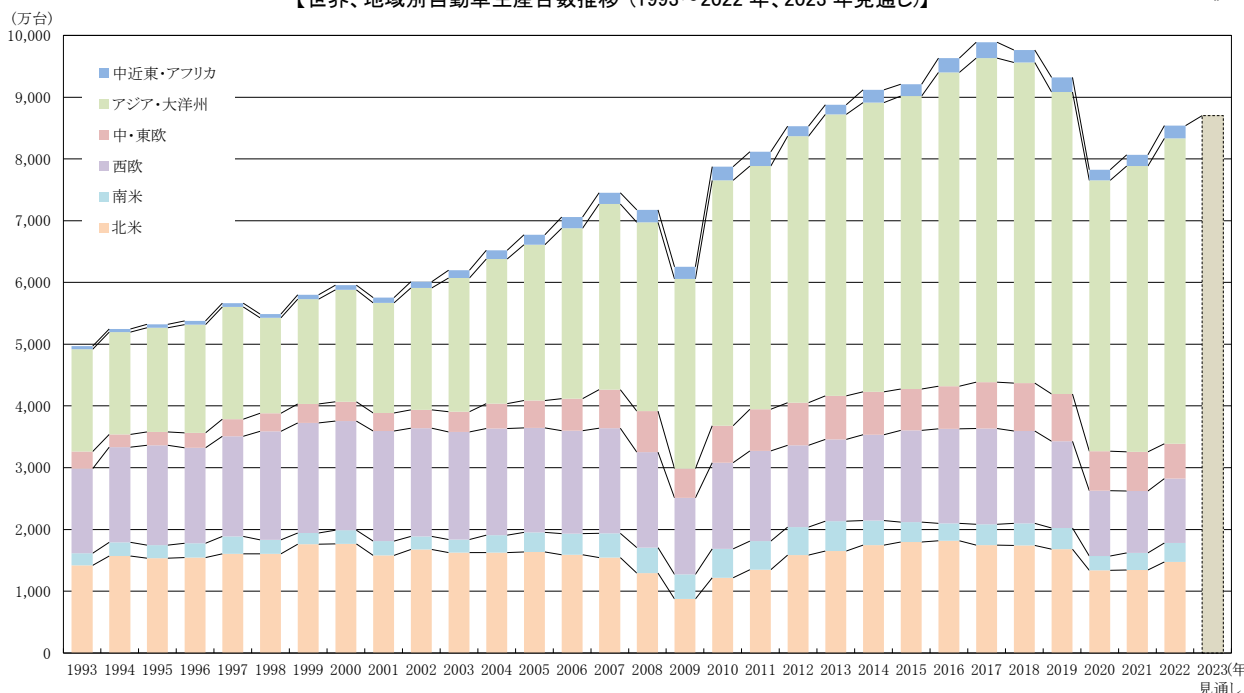
メーカー別では、トヨタグループ(Subaru含む)が同6.2%増の1,180万台となり、4年連続で首位に立ちました。また、2014年から1,000万台超の規模を維持している唯一のグループです。一方、Renault/日産/三菱自が同38.6%減の642万台となり、2017～2021年まで堅持してきた3位の座から陥落し、代わりに現代自グループ(同5.5%増の707万台)がトップ3入りする変化もありました。

ご参考までに、『FOURIN 世界自動車調査月報』2023年7月号に掲載しますグラフを下記に紹介いたしました。

当プレスリリース内容に関してのご不明な点やご質問は、『FOURIN 世界自動車調査月報』編集長の安藤(TEL:052-789-1143、FAX:052-789-0966、E-mail:h.ando@fourin.com)までご連絡ください。

【世界、地域別自動車生産台数推移(1993～2022年、2023年見通し)】

敬 具



注)2022年時点で生産データ取得可能な国は48ヵ国であるが、2020年までのデータには過去生産していた国を含む。北米=米国、カナダ、メキシコ、南米=ブラジル、アルゼンチン、ペネズエラ(～2017年)、チリ(1990～2007年)、コロンビア、エクアドル、ウルグアイ、西欧=ドイツ、フランス、スペイン、英国、イタリア、スウェーデン、ベルギー、オランダ、ポルトガル、オーストリア、フィンランド、中・東欧=ポーランド、チェコ、スロバキア、ハンガリー、ルーマニア、スロベニア、セルビア(1999年～)、トルコ、ロシア、ウクライナ(1992年～)、ベラルーシ(2001年～)、アジア・大洋州=日本、韓国、中国、台湾、インド、パキスタン、タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム(1999年～)、ウズベキスタン(2005年～)、カザフスタン(2004年～)、オーストラリア(1990～2017年)。中近東・アフリカ=イラン、南アフリカ、エジプト(1991～2019年)、モロッコ、アルジェリア(2014年～)。(各国自工会データ及びそれに準ずる機関のデータよりFOURIN作成)